



毎月第1土曜日開催「買場綾市」の様子

### 地域づくりをはじめたきっかけ

平成2年に町会長になり、たまその時行われた県の調査により、桐生に近代化遺産が多くあることが分かりました。地元の本町通りにも多くの蔵があり、行政の方を中心にその蔵を活用しようという動きが起こったことで、街並みについて関心を持つようになりました。

当時、本町通りを拡幅する動き



「本一・本二まちづくりの会」  
「買場綾市実行委員会」 森 壽作さん

があり、私も拡幅して地域が活性化されれば良いと思っていました。が、近代化遺産を活用した街づくりに関するフォーラム等で話を聞くうちに、拡幅のために古い建物を取り壊したり、移築したりするよりも、本物を残し、近代化遺産を活用した街づくりをした方が良いと考えが変わり、重伝建選定を目標に活動を始めました。

### 重伝建実現のため 買場綾市を開催

でしたので、この町を見てもらいたいという想いで、苦しいなかでも続けました。

### 繋がりを大切に

綾市は毎月第一土曜日に開催していますが、近くで開催している、天満宮の骨董市と本町3丁目の桐生楽市も同じ日に開催しています。人が散らばってしまうとの懸念もありましたが、相乗効果を狙って同じ日に開催し、連携しながらやっています。人が集まるとさらに人が来るようになり、今では3大市と呼ばれるようにまできました。

綾市を始めて2年目には地元のことを歌詞に盛り込んだ買場綾市音頭というものを作りました。年に1度は川越市で綾市音頭を踊っていますが、その時にも綾市音頭を踊っています。川越の方がどれくらい関心を持ってきているかは分かりませんが、踊る人たちが楽しみながら宣伝をしています。また、実現するかは分かりませんが、今年10月の川越祭りにも声をかけていただいております。お互い織物市場ということで、歴史を共有できます。歴史を大事にすることで、スムーズに繋がることのでき、活動も広がっていくのだと思います。

大変な状況でも続けることができたのは、良い人材と巡り会い、繋がりを大事にして、楽しみながらできたからだと思います。

### 重伝建選定とこれから

継続・連携することで綾市にも人が集まるようになりました。そこで、平成19年に「重伝建による町づくりに賛同します」という

重伝建選定に向け、最初は行政も積極的な立場でしたが、担当部署の変更などがあり、なかなか前へ進みませんでした。時間が経つと、建物は傷むし、取り壊されてしまうのではないかとという危機感もありましたので、平成7年に市に要望書を提出しました。また、重伝建実現に向けた具体的な取り組みとして、少しでも経済効果のあることをやろうと思い、買場綾市を始めました。

綾市は、初回こそ物珍しさから人が集まりましたが、第2回、第3回と人が集まらなくなりました。しかし、重伝建の登録が目標

### 重伝建とは

重要伝統的建造物群保存地区のこと。市町村が決定した伝統的建造物保存地区のうち、国にとって価値が高いと判断されたものが、国により選定される。

署名を集めたところ、地域住民の70〜80%の人が賛同してくれました。このことは、自分たちの活動が認めてもらえたという意味で、大変ありがたいものでした。当初は、人が来るような町になると心配だと言う人もいましたが、実際に綾市で人が町に来るようになり、賑やかになることは悪いことではないと思ってもらえたようです。綾市をやっているうちに良かったと思います。

時間がかかりましたが、平成24年に重伝建に選定されました。これまでは、重伝建選定を目標に活動してききましたが、今はここからがスタートだと思っています。桐生は織物の町で物作りの町です。桐生で作った物が売れるような形にし、桐生全体を盛り上げていければと思っています。

町の整備の問題など、私たちがでは解決できないものもあります。立場が違えば考え方も違ってくるとは思います。町は皆の共有財産という考えで、自分の考えだけでなく他人の考えも受け入れて1つずつ解決していきたいと思

ます。

町の中で喧嘩しては来てくれる人も嫌な気分になると思います。外から来てくれる人に気持ち良く思ってもらえるように、お互いを理解して、協力してやっていきたいと思っています。

### 好きな言葉

「無理せず楽しく」という言葉が好きです。

「継続は力なり」ですが、継続するためには無理をしないで楽しみながら取り組むことが必要だと思います。

## 「無理せず楽しく、笑顔でまちづくり」

「本一・本二まちづくりの会」「買場綾市実行委員会」 森 壽作さん

地域づくり人物リレーは、県内で地域づくり活動をされている方を取材し、紹介して参ります。第16回目は、「本一・本二まちづくりの会」「買場綾市実行委員会」の森 壽作さんにお話を伺いました。



WHO IS NEXT?  
次にバトンが渡る人は誰でしょう?  
次号をお楽しみに!!